平成 25 年 2 月 7 日　福島民友

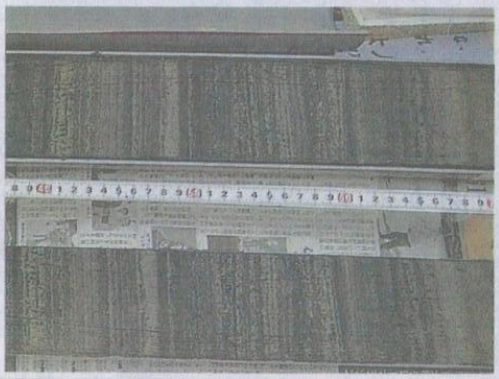
（第三種郵便物認可）

猪苗代湖 4.2万年前〝誕生〟

福大・長橋教授が発表

湖底堆積物から推定

昨年調査「これまでの研究証明」



ボーリング調査で猪苗代湖の湖底から採取した堆積物の層

福島大共生システム理工学類の長橋良隆教授は6日、同大で記者会見し、猪苗代湖底から採取した堆積物を分析した結果、猪苗代湖が約4万2千年前に誕生した可能性が高いとの研究成果を明らかにした。長橋教授によると、湖底堆積物から猪苗代湖誕生の年代を推定したのは初めて。

長橋教授は昨年9月から11月にかけ、掘削調査を行い、湖心部の水深90㍍の湖底から地下に25㍍ほど堆積物を採取、分析した。この結果、湖底地下25～27㍍より下には堆積物ではない特徴を発見したことなどから、猪苗代湖の誕生年代を推定した。

長橋教授は「これまで陸上の堆積物の分析では、大規模な山崩れによりせき止められて水がたまり、5万年ほど前にできたといわれていた。それと矛盾しない結果となった」と、これまでの研究を証明する結果となったことを説明した。

採取した湖底堆積物からは、バーコード状に白色と黒色の堆積物が交互に重なり合う特徴も見つかった。長橋教授は「数年、数十年単位で堆積物が変わっている。猪苗代湖に独特の堆積システムがあるのかもしれない」と話し、化学組成の分析などに取り組む考えを示した。